

### H30 八戸工業大学 教員免許状更新講習シラバス

講習名・日時：		主な受講対象者：	担当教員名：
【選択必修】 情報通信技術の活用と情報モラル教育 平成 30 年 10 月 21 日（日）9:00～16:40		高等学校教諭、中学校教諭	小玉 成人、 今出 敏彦
講習の到達目標及びテーマ：			
<p>様々な情報通信技術を教材の一部として導入・活用することについて、次の目標を達成するために講習を行う。</p> <p>①当該技術に係る基礎知識、最新動向および関連する科学技術事例の概要を修得するとともに、情報モラル教育の必要性を理解し、具体的な指導方法と内容を習得する。</p> <p>②これらを担当教科の教材の一部として導入・活用できる能力を養う。</p>			
講習の概要：			
<p>生徒が情報通信機器・技術・サービスを利用する機会が一般化し、教育現場でもこれらを活用した取り組みが行われているが、一方で、有害情報やいじめなどの影の部分への対応が喫緊の課題となっている。本講習では、タブレットやタッチディスプレイなどの情報通信技術の最新動向やこれらを活用した指導方法、情報モラル教育の必要性やその具体的な指導方法と内容などについて解説する。また、今回の講習で得た知識を担当教科の教材の一部として活用できる能力を養う。</p>			
授業計画：			
9:00～10:30 (90 分)	教育における情報通信技術（小玉） ・情報通信技術の最新動向 ・教育における情報通信技術の活用事例		
10:40～11:40 (60 分)	情報通信技術を活用した指導方法（小玉） ・タブレットやタッチディスプレイなどを用いた指導方法の紹介・体験 ・指導要領との関連、教材導入にあたってのアドバイス等		
11:40～12:10 (30 分)	筆記試験（小玉）		
13:20～14:50 (90 分)	情報モラル教育の基礎とその必要性について概要を説明しながら、「情報倫理」を題材とした指導方法について講義する。（今出）		
15:00～16:00 (60 分)	文部科学省が作成した「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を参考に、「研究不正」の予防についての考え方から、情報倫理に対する学校種ごとに相応しい教材、授業案、そして取組方法を決定し、「コア・カリキュラムとしての情報モラル教育」を構想する。（今出）		
16:00～16:30 (30 分)	筆記試験（今出）		
16:30～16:40 (10 分)	受講者評価（今出）		
テキスト：			
教科書は用いない。授業の際、独自のプリントを配布する。（小玉・今出）			
参考書・参考資料等：			
『無理なくできる 学校の ICT 活用』長谷川元洋・松阪市立三雲中学校著、学事出版（小玉）			
『岩波応用倫理学講義 3 情報』水谷雅彦他編、岩波書店（購入は必須ではありません）（今出）			
試験・評価：			
上記「講習の到達目標及びテーマ」①について 60%、②について 40%の配点割合で筆記試験を行い、総合点で達成度を評価する。60 点以上を合格とし、合格者には後日「履修証明書」を発行する。			